

電力会社による「計画停電」実施に伴う お客さまシステムの対応について

3月11日に発生し東日本大震災により、東京電力様の電力供給地域および東北電力様の電力供給地域の一部(注)で、計画的な停電を実施することが発表されております。お客さまが正常な手順でシステムを停止しない状態で停電になった場合、復電後に思わぬシステムトラブルが発生する場合がございます。

停電前に、正常な手順でシステム停止することをお願いします。

なお、UPS(※)をご使用のお客さまにおいても、バッテリーの充放電の繰り返しや寿命を超えてご使用している場合などは、UPSの自動シャットダウン機能ではシステムを正常に停止できないといったトラブルが発生することが懸念されます。停電前にお客さまの操作によりシステムを停止することをお勧め致します。

停電にともない確認すべき事項を以下にまとめましたので、ご一読ください。

(注)青森、秋田、山形、新潟の4県の一部

(※)UPSについては「[計画停電に伴う無停電電源装置\(BPシリーズUPS\)の取り扱いについて](http://www.fielding.co.jp/topics/2011/doc/0406.pdf)」でも詳しく説明しています。(<http://www.fielding.co.jp/topics/2011/doc/0406.pdf>)

停電前の対応

■ データバックアップの採取

復電後にシステムを起動する際に、思わぬトラブルが発生することがありますので、万が一の故障に備えてテープ装置などにデータバックアップすることをお勧めします。

■ UPSの状態確認

UPS(無停電電源装置)にはバッテリーが内蔵されており、停電時にはバッテリーを使って装置に電源を供給します。

バッテリーには寿命がありますが、その寿命を超えて使い続けると、停電時にシステムを正常に停止するための電源を供給できないというトラブルが発生する場合があります。バッテリーの交換時期や、装置にアラームが発生していないか確認をお勧めします。

■ シャットダウンによる確実な装置停止

連続稼働していたコンピュータの電源供給を停止する際、強制的に電源供給を停止すると駆動部があるハードディスクなどに過剰な負荷を与える場合があります。必ず、所定の手順でシャットダウンして頂くようお願いします。

装置停止時の対応

■ コンピュータおよびUPSの停止

コンピュータのOSをシャットダウンするだけでは、UPSからコンピュータへの電源供給は停止しません。停電発生時、UPSがバックアップ運転を行うことによりバッテリーは放電し、復電時には充電が行われます。今回のように、計画的な停電によりUPSがバッテリーの充放電を頻繁に行うと、極端にバッテリーの寿命が短くなる可能性があります。これを防止するためには、停電前にUPSに接続されているコンピュータ等の機器を停止した後、UPS本体を停止し停電中にバッテリーが放電しないようにしてください。

■ クラスタシステムの停止

OSのシャットダウンのみではクラスタシステムを正常に停止することはできませんので、クラスタシステムを管理するアプリケーションからシステムを停止する操作を行ってください。

■ 外部ストレージ接続システムの停止・起動順序

外部ストレージは、全てのアクセスがなくなってから装置を停止してください。

- 1.コンピュータの電源を停止する
- 2.コンピュータに接続された外部ストレージ機器の電源を停止する

※起動時は停止の逆の順序で、機器の電源を入れてください。

復電後の対応

■ 電源設備と空調設備の状態確認

電源供給を長時間停止していた期間中に、コンピュータシステムの電源設備や空調設備などに何かトラブルが発生している可能性があります。復電後にコンピュータを起動する際、障害が発生しないように電源設備や空調設備などの状態確認と、それらに関する周知・連絡事項の有無を確認していただき、コンピュータを起動してください。

■ バッテリーの通電確保

停電により電源供給が停止すると、UPSやストレージ機器などのバッテリーが使用されますので、コンピュータを起動後、バッテリーの再充電に必要な時間を確保した通電をお願いします。通電時間は、装置に添付された取扱説明書を確認いただくようお願いします。

NECフィールドイング

サービス技術本部
プラットフォームサポート技術部

お問い合わせは、下記へ

●本紙に掲載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
●本製品（ソフトウェア含む）が、外国為替及び外国貿易法の規定により、規制貨物等に該当する場合は、日本国外に持ち出す際には日本政府の輸出許可申請書等必要な手続きをお取りください。
●本紙に掲載された製品の色は、印刷の都合上、実際のものとは多少異なることがあります。また、改良のため予告なく形状、仕様を変更することがあります。